



平成 30 年 4 月 27 日

各 位

会 社 名 大平洋金属株式会社
 代 表 者 代表取締役社長 佐々木 朗
 (コード番号 5541 東証第 1 部)
 問合せ先 取締役専務執行役員 藤山 環
 (TEL 03-3201-6681)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成 30 年 2 月 6 日に発表した平成 30 年 3 月期通期(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)の連結業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

●業績予想の修正について

1. 平成 30 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 30 年 2 月 6 日発表)	百万円 40,314	百万円 △5,557	百万円 △2,445	百万円 △3,106	円 銭 △159.20
今回修正予想 (B)	41,210	△3,239	△203	△810	△41.56
増 減 額 (B-A)	896	2,317	2,241	2,295	
増 減 率 (%)	2.2	—	—	—	
(参考)前期実績(平成 29 年 3 月期)	38,697	△3,070	△515	△3,561	△182.55

※当社は、平成 29 年 6 月 29 日開催の第 91 回定時株主総会において、株式併合について承認可決され、平成 29 年 10 月 1 日を効力発生日として、普通株式 10 株につき 1 株の割合で株式併合を行い、1 株当たり当期純利益については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。

2. 修正の理由

連結業績予想について、当社フェロニッケル製品の販売価格形成の指標となる当社適用 LME ニッケル価格は、前回発表予想参考値を上回る水準のため売上高は増加傾向であり、原価においては、主原料であるニッケル鉱石の価格は依然高水準ながらも比較的落ち着いた推移であり、また、たな卸資産の収益性改善による評価戻入が発生することにより、原価上昇幅は一定程度と予想されます。

その他、営業外収益は、持分法適用関連会社 6 社の業績が堅調なことに伴い持分法による投資利益の増加が見込まれます。

そのため、連結業績予想を上記のとおり修正いたしました。

なお、前提条件に関しましては次ページ(参考)前提条件の修正をご参照ください。

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(参考) 前提条件の修正

	販売数量 (T/Y)			生産数量 (T/Y)			適用 LME ニッケル価格 (\$/lb)			適用為替 (¥/\$)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
前回発表予想 (平成 30 年 2 月 6 日)	16,118	15,482	31,600	15,361	14,450	29,811	4.43	5.06	4.74	111.17	111.50	111.33
今回修正予想	16,118	15,482	31,600	15,361	14,541	29,902	4.43	5.30	4.85	111.17	111.13	111.15
(参考) 前期実績 (平成 29 年 3 月期)	16,447	16,653	33,100	16,425	16,676	33,101	4.17	4.78	4.48	107.18	110.08	108.64

以 上